

〈中学校 国語 解説〉

設問 1 一

1 解説

趣旨

話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解答類型		正答
1 一	1	1と解答しているもの	
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	◎
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 参加者全員が話し合いの話題や方向を捉えて話し合うことができるようにする

話し合いをする際には、誰と何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかを捉え、それに応じて話すように指導することが大切である。

例えば、一定の合意を形成して物事を決めることを目的とした話し合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話し合いの流れを捉えるために、話の要点を各自でメモしたり、移動黒板等を用いて話し合いの過程を記録したりするなどの工夫について考えるように指導することも効果的である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1 三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 1 二に係る授業アイデア例「話し合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」が参考になる。

設問 1 二

1 解説

趣旨

相手に分かりやすく伝わる表現について理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号		解答類型		正答
1	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 相手に分かりやすく伝える表現を用いて話すことができるようにする

自分の考えを分かりやすく相手に伝えるためには、話合いの話題や方向を捉えた上で、話題に対する自分の立場や考えを明確にするとともに、そのような立場や考えであること理由について話すように指導することが大切である。その際、話合いの参加者の興味・関心、情報量等を考慮しながら、相手の発言を具体的に言い換えたり、他者同士の発言を結び付けて話したりするように指導することも重要である。

指導に当たっては、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A7-1に係る授業アイデア例「名インタビュアーになろう」「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語1『『体験入部』の報告をしよう』が参考になる。

設問 1三

1 解説

趣旨

話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正 答	
1	三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 話合いの流れを踏まえ、「二つの案」とは何かを明確にして書いている。 ② ①で示した「二つの案」に「共通する内容」を書き、「二つの案」をまとめて紹介すればいいと考える理由を書いている。 ③ 実際に話すように書いている。 (正答例) ・ (具体的には、)「学校行事」と「ボランティア」の二つの案を合わせて紹介することを提案します。両方とも生徒の自主的な活動であるというところが共通しているし、二つの案を合わせることで、今日出た三つの案をすべて生かすことができるからです。		
		1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	◎
		2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	
		3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことができるようにする

話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて話合いの話題について確認したり、話合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話合いの記録の仕方等を確認した上で、実際に記録を取りながら話合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えたりするなど、話合いの仕方を見直しながら進めるように指導することも効果的である。

指導に当たっては、平成 24 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 B 1 三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う」、平成 25 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A 1 二に係る授業アイデア例「話合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」が参考になる。